

半訳 by 齋藤旬 20250206

欧州経済思想史学会（ESHET）2025 年年次会議、5 月 22-24 日、トリノ大学、ルイーダ・エイナウディ キャンパス。2025 年 5 月 22-24 日にイタリアのトリノで開催される第 28 回欧州経済思想史学会（ESHET）年次会議の主なテーマは、経済学の変貌、つまり伝統的学説の「終焉」です。具体的には、経済学の学説がますますバラバラに断片化しているように見えます。この断片化の主因は、他の社会科学と共同で展開された新しい学際的研究プログラムが様々に、しかも新古典派経済学のコアから大きく逸脱して、開始されたことです。断片化は確かに、知識統一にとって潜在的な脅威です。しかし同時に、いわゆる正統派経済学が支配してきたヴィジョンに代わる新しい多様性の余地を生み出します。その様なヴィジョンの一つが、フランチェスコの経済（Economy of Francesco、EoF）です。

Pope Francis が推進する EoF が目指しているのは、私達の時代のチャレンジ課題、具体的にはこの形而下界に付き纏う社会経済不平等を解決する capability を持つ、より包摂的かつ倫理的で持続可能な経済を構築することです。こうしたことを踏まえて EoF は、経済学者や他の社会学者（特に若手研究者）、起業家、変革者に対し、フランチェスコの価値観に inspire された経済原則のコア、即ち solidarity, justice and sustainability 等を通じて経済システムを再考するよう呼びかけています。詳細は [EoF ウェブサイト](#) をご覧ください。（訳註：日本語で参考を求める方は、[EoF 基調論文の訳者による対訳](#) もご覧下さい。）

ここに EoF は「フランチェスコの経済：経済学の新地平線」という ESHET との合同セッションのために abstract 募集を開始します。このセッションでは、EoF の視点が、新概念、新実践、新アプローチ（新地平線）を経済学にどのように導入出来るのかを議論します。これらの新しい地平線は、経済学者の役割の再考も必要とするでしょう。また EoF の視点によれば経済学者は、経済原則をこの様に新しく刷新することにおいて積極的な役割を果たすべきです。

当論文募集は、若い研究者や members of the EoF community に、gioeligiulia@iiss.it または g.lucchini@lumsa.it 宛に、abstract（400 words max, 3-5 keywords）を提出することを奨励します。

当セッションは、以下に例示する topics をカバーする予定です：

- フランチェスコの価値観に inspire された概念・実践の理論分析。例えば、経済問題の規範的分析。
- フランチェスコが関心を向けた研究対象、例えば、不平等、人類発展、環境、経済現象

の倫理的暗示、持続可能な金融、等のケース・スタディーに関する、諸モデルの詳解、方法論的議論、実験に基づいた分析。

- 現在・未来において EoF は、経済学者の役割をどの様に再形成するのか。この様な再考は、経済学の諸学説にどの様な衝撃を与えるのか。
- 経済の理論と実践における gift-giving（贈与）の役割。例えば、社会における協働作業とコミュニタリアン思考を促進する上での gift-giving（贈与）の役割。
- 経済システムと平和構築との関係に関する議論。例えば、利益相反の緩和と社会調和の促進へ向かう道にハイライトを当てて。
- EoF-inspired projects , and their results に関するケース・スタディー。
- 持続可能で包摂的な経済を構築する上で local communities が果たす役割。
- the EoF Hubs and Villages で行われている科学的研究活動。（詳細は [EoF Villages](#) 参照方）

日程：

abstract 募集締め切り：2月17日 月曜日（イタリア時間）

採択通知：3月1日 土曜日（イタリア時間）

Session organizers：

Valentina Erasmo, トリノ大学

Giulia Gioeli, Italian Institute for Historical Studies, ナポリ

Giorgia Lucchini, LUMSA University

For questions about the ESHET 2025 Annual Conference, please contact: eshet2025@unito.it